

## 第9回 にぎわい創出検討部会

令和4年7月28日(木) 13:30～

ボスティビルド3階研修室

出席者 部会長+部会委員8名

### 今回のWSの目的は？

ウォークアブル、即ち「居心地が良く歩きたくなる」まちをつくるためには、常盤通りだけで完結することはできない。雰囲気の良い通りをつくることは勿論のこと、エリア全体に魅力のある目的地を増やしていく必要がある。

真締川+新庁舎広場+井筒屋跡地+琴芝街区公園+商店街等の地域特性を読み取り、それに沿ったエリア別のビジョンと方針を踏まえ、沿道建築(民間、公共)との関係を考える。

第9回となる本会では、第7回で話し合った3つのエリア(①新庁舎前、②ヒストリア前、③旧井筒屋前)の提案をもとに、さらなる議論・発表を通して意見を共有し、3つの班に分かれ空間利活用のデザイン再検討を行った。

### 今回のWSの議題

公共施設前3箇所について前回の検討案を基に  
全体との調和・各箇所コンセプト・ディテール、今後の管理まで  
踏まえて再検討・議論を行い、より良い案を提案する。

# 01 検討案をもとに課題や配慮する点を共有する

第7回で議論・発表した各エリアの検討案をさらにブラッシュアップしていく。

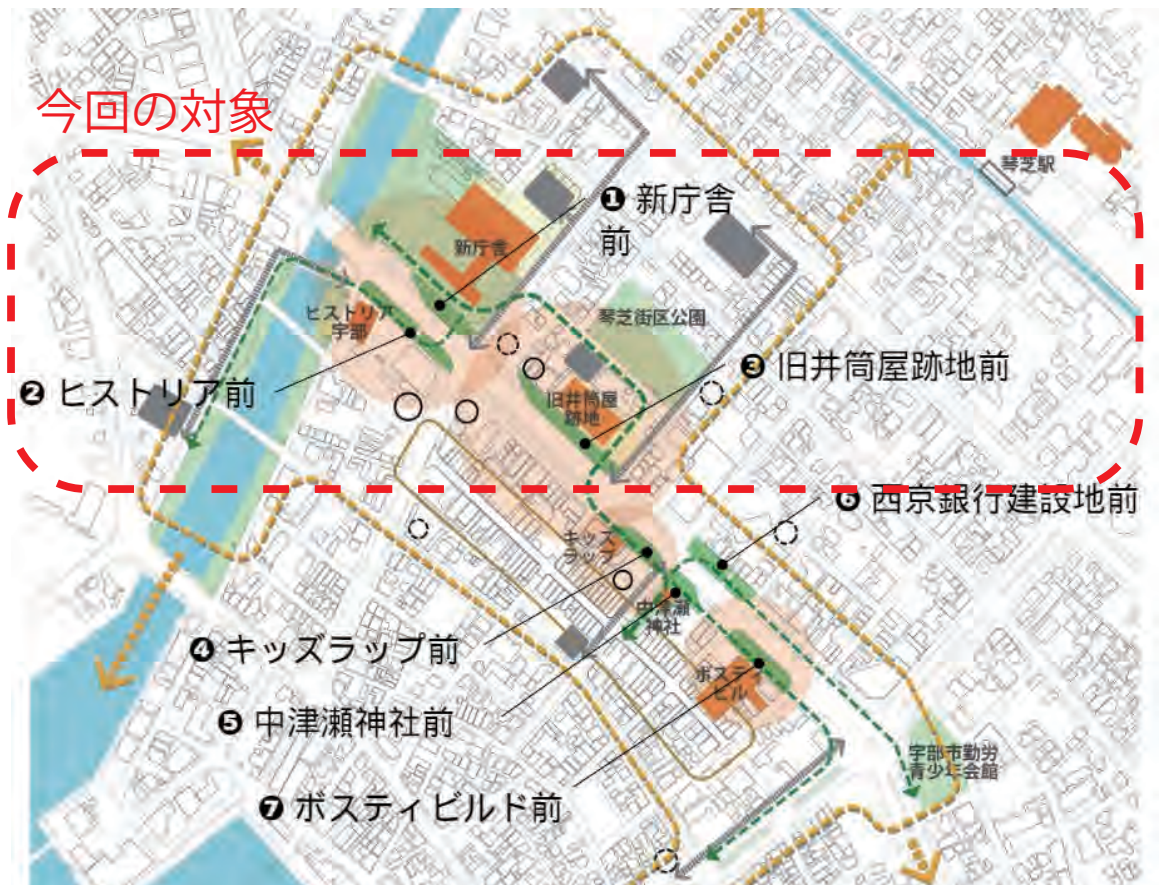
実際に空間を利用する人の視点やキッチンカー所有者からの視点、通り全体及び隣のエリアとの比較など、視点を換えることで見えてくる課題を全体で共有する。

また、これまで考えてきたコンセプトに検討案が対応しているのかも確認する。

# 02 案の再検討を行う

見つけた課題を考慮して、さらに議論を行う。

全体との調和・各箇所コンセプト・ディテール、今後の管理など、具体的かつ実現可能性のある案を検討する。



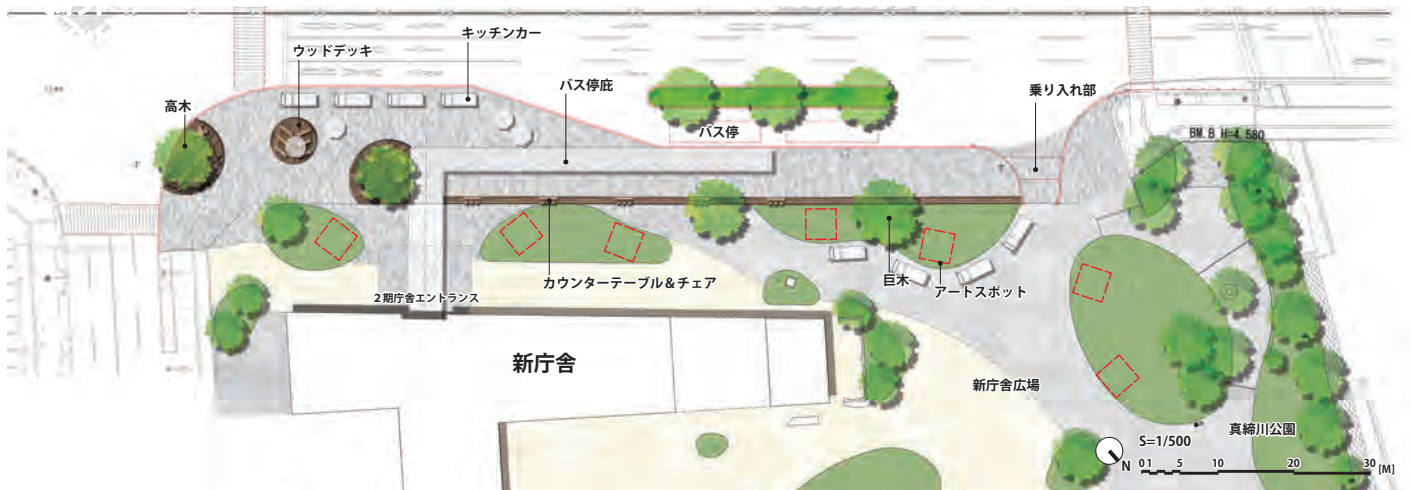
エリア

1

## 新庁舎前

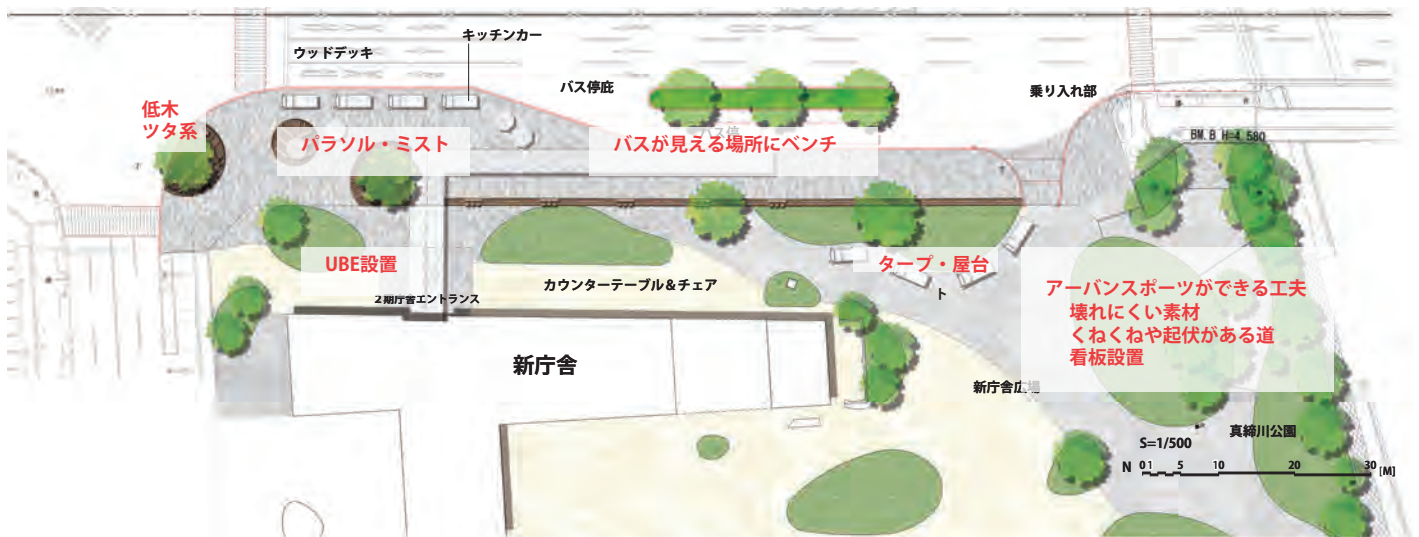
前回（第7回）の検討案

- ・バス停の利用者（市役所の利用者）と市議員の動線を考慮した空間配置
- ・新市庁舎前の広場（芝生空間）とバス停と連携したキッチンカーの出入り及び設置場所
- ・キッチンカーを利用する人（周辺の会社員等）がくつろげる空間の創出
- ・芝生広場との相性を考慮した円形のデッキ等の有機的な配置とベンチやテーブルの設置
- ・くつろげるスペースに合わせたシンボルツリーの設置による心地よい影の演出



今回の再検討

- ・バス停の滞留空間は、**バス底下に、バスが見える場所に、ベンチ**を設ける。
- ・大きなモニュメント「**UBE**」のフォトスポットを設置する。この空間は、市長が市民に向けてメッセージを定期的にとる場となり、モニュメントの背景には、整備した通りが見栄え良く写る工夫を行う。
- ・市庁舎広場は、キッチンカーだけでなく、**屋台やタープ**等で市庁舎で働く人に向けたお弁当販売することができる空間にする。
- ・全体的に滞留空間に**パラソル**を設ける。また、暑さ対策のために、**ミスト**ができるようにする。
- ・新庁舎広場で、**アーバンスポーツ**ができるようにしたい。そのために、石などの壊れない素材でつくったり、看板を設けたりする工夫が必要である。
- ・交差点近くにある高木を**低い緑**に変えて、視界を広げる。

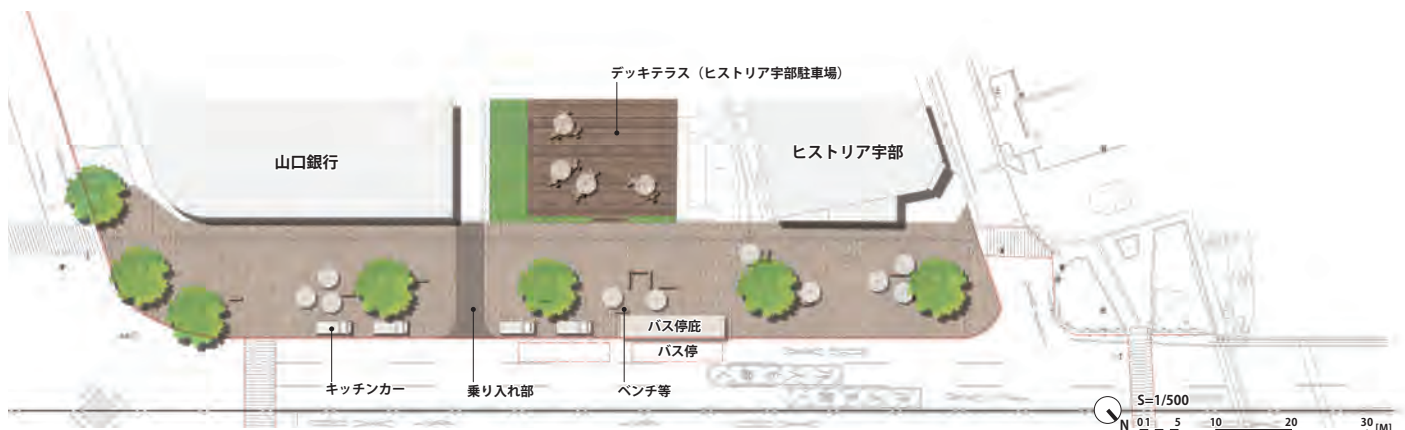


# エリア 2

## ヒストリア宇部前

前回（第7回）の検討案

- ・ 歴史や文化を感じられるヒストリア宇部の雰囲気合うような空間及び舗装等の設えの検討
- ・ 対面に位置する新庁舎との見栄えを考慮した桃色レンガ舗装の設置
- ・ 賑わいのある新庁舎前の広場に対し、静かな滞留空間の演出
- ・ 新庁舎前との一体感をもたせるためのキッチンカーの配置場所の検討
- ・ ケヤキ等の木陰による歩行及び滞留空間の質の向上
- ・ 葉っぱや枝の伸び方を考慮した樹木の配置

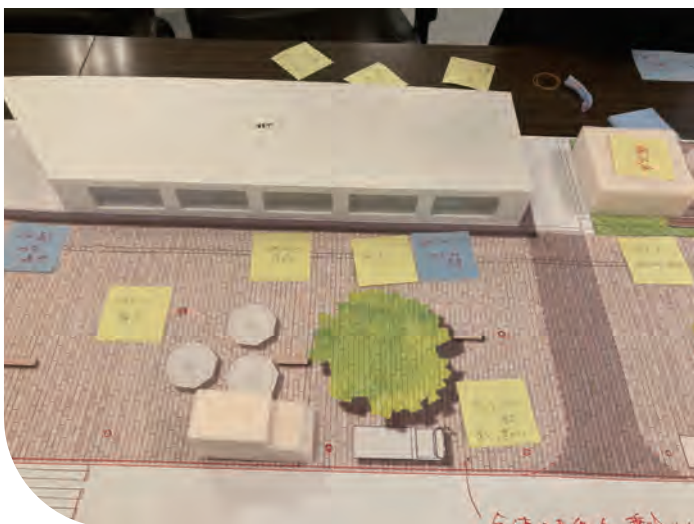


# エリア 2

## ヒストリア宇部前

### 今回の再検討

- ・イベント等で柔軟に利用することができるよう、エリア全体に電源や水道の設備、屋台などの設置空間を確保し、イベント等で柔軟に利用することができる
- ・ヒストリア宇部前では、屋外での展示、銀行前では、付近の小学校等の作品を展示するスペースとして活用する。
- ・キッチンカーが常盤通り全体に並ぶことは現実的に困難であるため、このエリアでの設置は要検討（他エリアでの設置を優先）
- ・舗装は、市役所前等のエリアとなるべく同じように行うが、現存するプラタナスの木は残すことで、生まれかわりつつも名残のある風景を演出
- ・現在解体されつつある桃色レンガの情報を収集し、廃レンガを集めて利用することで、歴史の継承する空間の創出

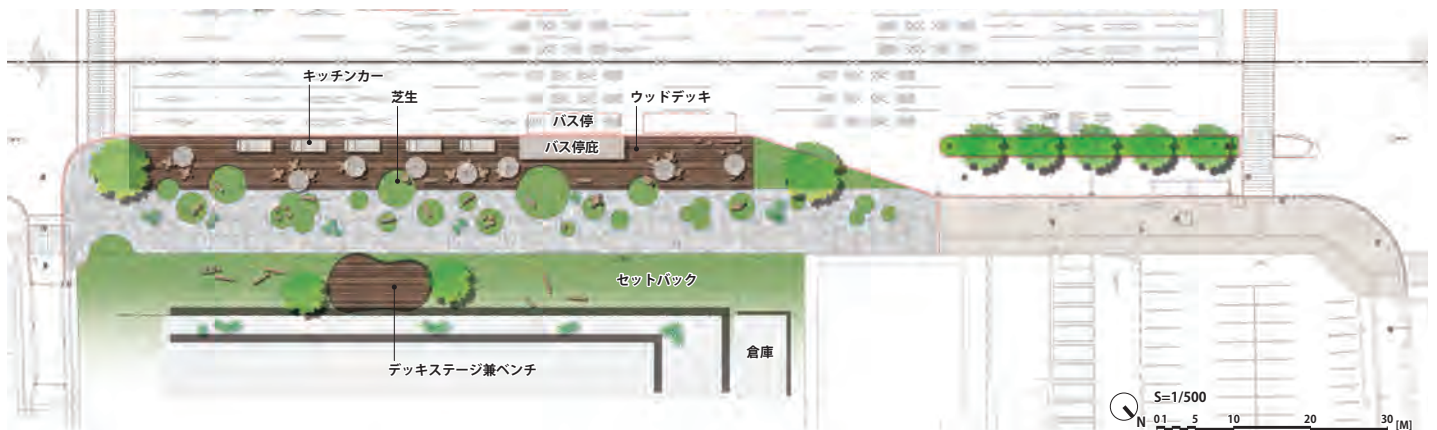


# エリア 3

## 旧井筒屋跡地前

前回（第7回）の検討案

- ・常盤通りの中心となる場所としての歩行空間だけでなく、**旧井筒屋跡地の新しい建築の1階用途と連携した滞留スペースの検討**
- ・旧井筒屋跡地の新しい**建築のセットバック**により、日常は外部の飲食等の憩いの場、週末（非日常）は**イベント**で利用できるような**可変的な空間の演出**
- ・旧井筒屋跡地にテーブルやイス、各種什器の保管場所を設けることで、**可変的な空間利用の最大化**
- ・利用者が場所を**選ぶ楽しさ**を考慮し、**大きさの異なる円形の芝生・デッキ空間の設置**
- ・広い芝生を活かしたレジャーシートの用意による**心地よい公園空間の演出**
- ・デッキは、飲食物をこぼしても**長く使える素材と色の検討**



今回の再検討

- ・道路と公園化空間の境界にスロープを設け、**道路からキッチンカーの侵入を可能にする。**
- ・ステージの前が通路になっていてステージが見つらいため、バス停からの動線等も考慮しながら**円形の芝生**や**樹木の数を減らした。**
- ・バリアフリーを考慮して、ベンチとしての併用も兼ねているメインステージの奥側にスロープを設置する。
- ・旧井筒屋跡地にできる新しい建物の**1階に貸出品の管理事務所**を設ける。
- ・イベントの準備等を効率よく行うため、**貸出物を保管する倉庫はステージの近くに設ける。**
- ・バスを待っている人と、飲食している人の境界をなくすため、**バス停の屋根を拡大**することで「同じ空間にいる」といった感覚を利用者に与える。
- ・円形の芝生は周囲が**平坦かつ設置するテーブルやイスが仮設**であれば、芝が刈りやすい。

